

ガバナー月信 2025-2026 Vol.9



Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter 2025-2026

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことのために
手を取りあおう

Vol.9

2026.3.1

Rotaryのことを熱く語ろう！
～ Rotarian Benefits を紡ぎ、
そして育むために～

佐渡ガバナーからのメッセージ
水と衛生月間に寄せて
会員増強・維持セミナーレポート
山本ガバナーエレクト 次年度に向けて～国際協議会を終えて～
第6分区 母子の健康増進委員会の取り組み
北海道（2500地区）のロータリー史
地区補助金事業紹介
米山奨学生レポート Youはどうして2500地区へ？
新入会員紹介・物故会員
寄付者報告
例会出席率 & 会員数推移



2025-2026 年度
国際ロータリー第 2500 地区
ガバナー 佐渡 正幸
(釧路北ロータリークラブ)

寒さもようやく和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。会員の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

3月は、第8分区を皮切りに、4分区、6分区においてインターシティ・ミーティング (IM) が開催されます。ガバナー補佐の皆様、並びにホストクラブ、関係者の皆さまにおかれましては、準備に何かと大変かと思いますが、ロータリアンとしての使命と誇りを再確認する素晴らしい機会をご提供いただければと思います。私も多くの地区内のロータリアンの皆さまと再会できることを楽しみにしています。改めてロータリーのことを熱く語り、友情を深めたいと思っています。

また、いよいよ次年度に向けたセミナーも開催されます。14日に地区チームラーニングセミナー (DTLS)、15日に会長エレクトラーニングセミナー (PELS) が旭川で開催されます。クラブ、また地区において、本年度の完成に向けて、そして次年度の出発に向けて慌ただし時期とはなりますが、奉仕の理念である Service Above Self の精神を心に刻み、皆で力を合わせて精進していきましょう。

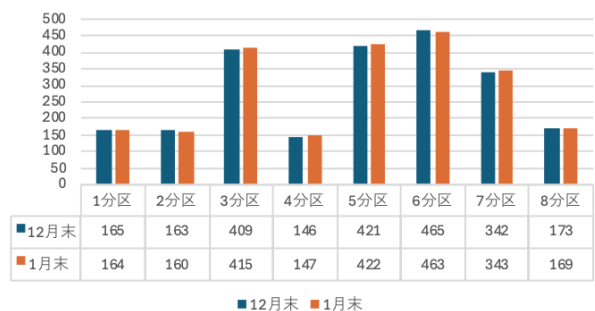
さて今月は「水と衛生」が月間テーマです。私たちロータリアンが、清潔な水と基本的な衛生環境が全ての人の健康と尊厳を支える基盤であることを、改めて認識する月です。世界にはいまだ安全な飲料水を利用できない人々、適切な衛生設備を持たない地域が数多く存在します。ロータリーは長年にわたり、井戸建設や浄水設備の設置など数多くの奉仕プロジェクトを通じて、この課題に取り組んできています。本地区においてもグローバル補助金の事業を通じて、水支援活動や衛生啓発活動に取り組むクラブが増えてきています。こうした活動はロータリーの理念である「超我の奉仕」

の精神を具体的に体现するものであります。小さな一歩 (気づき) の積み重ねが、大きな変化 (インパクト) を生み出します。今月は是非、各クラブにおいて水と衛生に関する理解を深め、地域社会や国際社会に貢献できる活動について、「熱く語って」いただきたいと思います。また、ロータリー財団へのご寄付を通じて、水と衛生の問題を含め、世界の平和につながる一助となることへの理解も深めていただければ幸いです。

清らかな水は、生命そのものです。未来を担う子どもたちの笑顔のために、そして誰もが健康で尊厳ある生活を送れる社会の実現のために、今月も地区内の会員の皆さまと共に歩んでまいりましょう!地区内すべてのクラブの更なる活性化と、会員皆さまのご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、今月のガバナーメッセージといたします。ありがとうございました。

1 月末会員数

2500地区合計 2283 名
期首会員数 2205 名から 78 名増



目標まであと 217 名!!

水と衛生月間に寄せて



2025-2026 年度
国際ロータリー第 2500 地区
社会奉仕委員会委員長
山岸 弘典
(釧路ロータリークラブ)

“当たり前”を守り、世界の“当たり前”をつくる

蛇口をひねれば安全な飲める水が出て、学校や職場に清潔なトイレがあり、手洗いができる。日本では多くの人にとって、それは意識すらしない“当たり前”なことです。

今から 10 年近く前、昨年度に続いて今年度もグローバル補助金チームリーダーを務められています荒井剛氏（釧路ロータリークラブ所属）の SNS で、釧路ロータリークラブ 80 周年記念事業の一環として地区補助金を活用した国際奉仕事業によって、ブータンの首都ティンブーの学校で水と衛生の事業に取り組まれている記事を拝見しました。

ティンブーでは朝と晩 2 度しか水が供給されず（もちろん飲み水にはできない）、1000 人規模の学校に対して小さなタンクしか無く、トイレの後、食事の後、わずかな量の水で手洗いをしなければならない状況であったそうですが、そこにより大きなタンクと手洗いをより快適にする設備を整えたそうです。

水に限られた時間帯にしか得られない環境では、手洗い・トイレ・日々の衛生習慣そのものが成り立たず、健康や学習の機会にも影響が及ぶでしょう。

この様な釧路ロータリークラブの皆さんの、貯水タンクの整備や手洗い環境の改善といった素晴らしい取り組みは、単なる設備支援ではなく、子どもたちの健康と学びを支える“基盤への投資”です。

当時、私はまだロータリークラブに入会して間もない頃でしたから、受けた印象は「へえ～、ロータリーってやっぱりすごいなあ～。」というどこか外野からの感想程度でしたが、「水と衛生」の活動は、地域や国が違って、人の尊厳と未来を守る共通の社会奉仕であると今確信します。

国連のホームページによると、世界では今も、安全に管理された飲み水を利用できない人が 21 億人、安全に管理された衛生（トイレ等）を利用できない人が 34 億人、そして基本的な衛生（石けんと水で手を洗える環境）を欠く人が 17 億人いて、さらに 3 億 5,400 万人が屋外排泄を余儀なくされていると、WHO/UNICEF の最新推計（2024 年時点）で報告されています。この現実には、健康だけでなく、教育、経済、そして尊厳に直結します。

水と衛生の不足は、単に「喉が渇く」「不便だ」という話ではありません。汚染水や不十分な衛生環境は水系感染症のリスクを高め、子どもの欠席による学習機会の

損失、家庭の医療費負担、地域の生産性低下へと連鎖します。

さらに、家庭に水がないことで、水汲みの負担が女性や少女に偏りやすいことも指摘されています。水は“命のインフラ”であると同時に、“機会のインフラ”でもあるのです。

それでは、ロータリーが何をしてきたか？

ロータリーは「水と衛生」を、井戸や設備を“作って終わり”にせず、地域とともに運用し続けることを重視してきました。水・衛生・衛生教育（WASH）を通じて資源を動員し、各国の行政や支援団体と連携し、インフラ整備と同時に維持管理や衛生教育に投資することで、長期的な変化を生み出す——それがロータリーの姿勢（WASH プロジェクト・W = Water（安全な飲み水）・S = Sanitation（トイレ、下水・し尿処理など“便を安全に扱う仕組み”）・H = Hygiene（手洗いなどの衛生習慣・衛生教育））です。

例えばレバノンでは国内 24 クラブが分断を越えて結束し、政府や UNICEF 等と協力して全国の公立学校へ安全な水を届ける仕組みを構築しました。またフィリピンではトイレ 222 基や手洗い場、ろ過装置の整備により、1,000 人を超える人々に衛生環境を、約 600 人に継続的な安全な水を提供した例も紹介されています。

こうした取り組みは、2013 年以降、ロータリー財団が世界で 2,000 件超の WASH プロジェクトへ総額 1 億 3,000 万ドル以上を投資してきたことにも表れています。

私が生活する釧路市でも来年から、現行の急速ろ過方式から膜ろ過方式へと浄水場が更新されます。また、耐用年数が過ぎた水道管の更新計画も進んでおり、今まさに安全な水が供給されることは当たり前ではないんだという認識をしているところであります。

水と衛生は、命を守り、学びを守り、地域の未来を守ります。そして、日本の“当たり前”は、世界ではまだ“当たり前ではない”。

だからこそ第 2500 地区の私たちは、国内ではいざという時に水と衛生を守る備えを進め、国外では持続可能な WASH を増やし、ロータリーらしく「人と人」「地域と地域」をつないでいきたい。

社会奉仕委員会委員長として、今月がその一歩を踏み出す契機になることを願っています。

花を咲かせる会員増強 第 2500 地区 会員増強・維持セミナー クラブサポートミーティング レポート



1月25日、釧路プリンスホテルで開催された第2500地区『会員増強・維持セミナークラブサポートミーティング』にて、第1地域ロータリー会員増強コーディネーター（RMC）であり第2840地区パストガバナーの田中久夫様にご講演いただきました。

田中様は、ご自身の著書『そうだったのか!? ロータリークラブ!!』（幻冬舎ルネッサンス）でも詳述されているように、会員増強を「花を咲かせる」営みに例えて解説されました。美しい花を育てるには、**良い土壌（インクルージョン=包摂の文化）、良質な種（多様で楽天的な新会員）、十分な水（現会員の温かい配慮=エクイティ・寛容さ）の3要素が不可欠です。**

1. 土壌（クラブの文化・居心地の良さ）

- 新入会員が「ここに入って良かった」と感じられるかどうかは鍵。
- 迎え入れ時の無関心・無反応は最大の敵。入会初回から温かく声かけ、抽選制での席替え、握手・名刺交換の習慣化などで人脈を広げ、誰もが自分らしく参加できる環境を。
- マズローの欲求段階説を引用し、特に「社会的欲求（所属感）」と「承認欲求（認められる喜び）」が満たされると「ビロギング（所属意識）」が生まれ、自然と紹介が増えると強調。
- ご自身が高崎 RC 会長時代に 51 名純増を実現した秘訣は、抽選席・毎回の交流促進・若手への早期役職付与など、徹底したインクルーシブな運営でした。



2. 種（新入会員に求める資質）

- 素直で楽天的、情熱（バイタリティ）・楽天性・頑張れる人の3条件（安岡正篤氏の教えを引用）。
- 新人は「知る→好きになる→楽しむ」のステップを踏む。
- 面接を丁寧に行い、合格を「特別な喜び」に変える演出が退会防止に有効。
- 人生に欠かせない3つ（憧れの対象・生き方の指針・語り合える友人）をロータリーで得られると伝え、誘う際のキーワードに。



3. 水（現会員の姿勢・寛容さ）

- 「寛容さ」がロータリーの真髄（ポール・ハリス以来の教え）。
- 障壁となる4つの問題点：①「老耄狸暗」：自己中心的な「ロータリアン気取り」、②シニアの自省、③差別意識、④やる気がない、無関心。
- 特にシニア会員は「金を出して若手を可愛がる」姿勢を。趣味部創設などで世代間交流を促進した事例を紹介。
- 「雑草には水をやらずに抜く」(ジェニファー・ジョーンズ 22-23RI 会長のエピソード)を引用し、負のオーラを持つ会員への対応も必要と指摘。
- 入会したての新人が「ロータリーに入って良かった」と言える環境こそが、次の増強につながる。



田中様は「楽しいクラブに人は集まる」「挑戦した経験が人を成長させる」と繰り返し、クラブが活性化すれば会員増強は自然に進むと話され、誰もがガマンすることのない居心地の良い場所にするためには「朗多利安」（朗らかで、多くの友人に囲まれ、周りに利益をもたらす、居るだけで安心する）のような人材が好んで集まるクラブづくりこそが持続可能なロータリーの基盤であることを、豊富な事例とユーモアを交えて熱く語っていただきました。

佐渡ガバナーをはじめ、参加された皆さまにとって、次の一步を踏み出す大きな励みとなったことでしょう。田中様、貴重なご講演をありがとうございました。

次年度に向けて ～国際協議会を終えて～



2025-2026 年度
国際ロータリー第 2500 地区
ガバナーエレクト

山本 倫生
(旭川ロータリークラブ)

2026年1月11日より15日まで、アメリカのフロリダ州オーランドで開催された国際協議会にパートナーと参加して来ました。

第1回本会議にてオラインカ H. ババロア RI 会長エレクトのメッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」(CREATE LASTING IMPACT) が発表されました。

5日間の本会議・分科会に世界から510数名(日本から33名)のガバナーエレクト、及びパートナーが集結し活発な意見交換が繰り広げられましたことご報告申し上げます。

いよいよ始動開始です。



帯広畜産大学と連携した生理用品寄贈と講義を実施



— 第6分区 母子の健康増進委員会の取り組み —

2025年12月12日、第6分区・母子の健康増進委員会は、帯広畜産大学において生理用品の寄贈と講義を組み合わせた事業を実施しました。本事業は同大学ダイバーシティ推進室との連携により行われ、オンライン配信も併用されました。

本取り組みは、昨年度小谷ガバナーの発意により開始された事業の2年目にあたります。初年度は高校生を対象として実施されましたが、今回は大学生へと対象を広げました。生活環境の変化が大きい世代に対し、物資支援にとどまらず、正しい知識に触れる機会を提供することを目的としています。

当日はRCの活動紹介のほか、米山奨学生制度やRACについても説明が行われました。その後、帯広畜産大学学長・長澤秀行氏(帯広RC)へ、小田衣代委員長(帯広南RC)より生理用ナプキン約3万個の目録が贈呈されました。

続く講義では、小谷先生が性感染症や避妊について医学的視点から解説。学生たちは真剣に耳を傾け、アンケートでは「身近な問題として考えるきっかけになった」といった声が寄せられました。

母子の健康増進委員会・後藤芳子氏(帯広RC)は、「支援は“渡す”だけではなく、理解を深める機会をつくるのが大切」と話します。大学という学びの場とロータリーが連携した今回の取り組みは、地域に根ざした継続的な支援の在り方を示す機会となりました。

なお、生理用品は12月16日に大学へ納品され、本事業は完了しました。

2500 HISTORY

北海道（2500地区）のロータリー史 その5

◆量と質の平衡

田巻（第5分区）：私の地区では、北見、網走のクラブが中心になり周辺に各クラブが散在している状況ですので、地方都市の場合、ライオンズクラブとの関係が大きく影響しています。小さな町でライオンズクラブができていところへロータリーを創ろうとしても住民感情を分けるようなことになって、中々できないのが現況です。

九本（第6分区）：たしかにロータリーはボランティアな奉仕活動ですので、外部から強制的に創らして中味がないようでは困るので、量だけの拡大であってはいけない。量と質の両面を平衡して考えなければならないと思います。

宮地（第4分区）：只今質的な話題が出ましたが、第4分区の場合も紋別クラブが昨年20周年を迎え、アディショナルとして紋別港クラブを誕生させたわけですが、港クラブの場合は平均年齢30代という若さで潑刺していますが、反面その港クラブに若い人を優先的に入会させたため、親クラブが老化するのではないかという心配があったわけですね。そのような現象は、1・2年は現実にはありましたが、やはり親クラブ自体も十数年前、やはり今の港クラブと同様に大なる意欲をもって活発な行動をしてきた過去を想起して、これではいけないとばかりアディショナルクラブに刺激され、良い効果が出ているように思います。また、新しいクラブのクラブ奉仕の教育の点ですが、これはクラブ活動の基本となるものですから、新クラブに対しては相当の線まで色々な角度から指導し、あるいは相談に乗るべきではないかと思えます。せっかく新クラブを創っても、その点が半ばになると同じ分区内の会議でも、歯車がかみ合わない。従って単純な問題でも、基本的な意見の違いが出てしまうということが起きるわけですね。分区代理として、四大奉仕部門の指導もありますが、新クラブに対しては、特にクラブ活動の根本をなすクラブ奉仕を重点的に指導すべきでないかと思えます。

近藤（ガバナー）：まったくその通りだと思います。その場合指導する側と受入れる側とが、しっくりしない場合は、せっかくの苦勞がかえって講をつくってしまうおそれがあります。その点アディショナルクラブの場合はスムーズに行くわけですが。なんとか早く一人前になろうという気持ちはあるのだから、そこをうまくつかんで接すべきであろうと思います。いずれ憶えるだろうと手加減すると我流の判断をされるおそれがある。出席率に対する考え方もそうです。

井上（第2分区）：ロータリーにはきまったパターンがありますので、それをしっかりと認識していただき、実行をしていただきたいと思います。囲碁の定石と同じように、基本をしっかりと覚えなないと、その後の伸び方が違うように、基本の認識が大事だと思います。

大野（第一分区）：私のクラブでは元分区代理が4人もおりま

して、このような古いクラブよりも新しいクラブに入った方がなじみやすいという新入会員がおりますね。しかし古いクラブではやはり、同じ釜のめしを長年食べてきただけあって、あまり話合いをしなくてもしっくりしているし、特にロータリー情報については立派です。日本人の場合ルールを守るという気持ちはあるが、反面それ以上のことは消極的になる気質がありますからね。

近藤（ガバナー）：古いクラブの場合は、それが形式的に流れているように見えますが、公式訪問をしてみると、シニアの会員などは、若い会員の行動力について物足りなさを感じている様子が解りますし、反面、青年会議所出身の会員など、社会的に訓練された会員が続々入会していますので、新旧ともに向上しているように思われます

田巻（第5分区）：佐藤バスターガバナーの本に「ネクタイをはずし、禪を極めて」という言葉がありますが、あまり形式にとらわれず楽しいクラブにしようという意味であると思います。ロータリーソングに「見つけたときにゃ、おいと呼ぼう」とあるが現実には実行されない。

道下（第7分区）：私どもの分区は、都市と僻地のクラブに分かれています。クラブの拡大については無理な点があります。また、内部拡大というか、会員増強についても一職業一人という原則から中々困難であるというのが実情であります。終戦直後にアメリカから来た医者に抗生物質の療法のことを聞いたのですが、経済的に持てる国と、持てない国との違いのなかで、当時の日本の国の健康保険でそんなに投薬できるかという現実があり、結局何のためにもならなかったということがありました。これと同じことがロータリーでもありはしないか、と考えさせられる面があります。というのは、大きなクラブでは、それなりの大きな予算で社会奉仕をやっているが、20人前後のクラブでは予算の額も少なくまとまった事業ができない、社会奉仕一つとってもこのような違いがある。しかしその場合ロータリー活動に対して誇りを持ち、小さなクラブにはその地方として、あるいは小さいなりの事業があるはずだということで指導しているのですが、この点はむずかしいですね。

九本（第6分区）：その地方に立脚した奉仕活動をすべきであって、大きな予算に裏付けされた事業ばかりが立派であるとの考え方でなく、そのクラブそのクラブの体質にあった事業を組むべきであると思います。



国際ロータリー第2500地区
バスターガバナー
〈2008-2009年度〉
足立 功一
(釧路北ロータリークラブ)

地域に根ざす奉仕の実践 地区補助金事業報告

音更ロータリークラブ



音更ロータリークラブは2025年8月23日、道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」を花で彩る事業を実施した。地元はもとより全国から訪れる来場者に喜んでもらうことを目的に、地区補助金の申請を含め1年以上前から準備を重ねた。音更町教育委員会と音更高校の協力のもと、高校農業倶楽部がガーベラ、ペゴニア等約500株を栽培し、当日は会員・家族59名、教員4名、農業倶楽部生徒11名、ボランティア部生徒17名が参加。本事業のため制作したオリジナルTシャツを着用し、プランターを配置して景観に彩りを添えた。作業後は集合写真を撮影し、続けてEND POLIO NOWの募金活動を実施。集まった55,896円はロータリー財団へ寄付し、地域貢献と啓発を両立する一日となった。高校生が主体的に関わったことで、奉仕の現場を学ぶ機会にもなり、世代間の交流が自然に生まれた。花鉢は設置後も来駅者の目を楽しませ、道の駅の魅力向上に継続的に寄与している。地区補助金を活用した協働モデルとして、今後の地域連携事業の参考となる。

芽室ロータリークラブ



芽室ロータリークラブは「芽室ロータリークラブ杯 芽室野球少年団大会」第20回記念大会を開催した。本大会は、町内青少年の健康でたくましい心身を育み、自主性と協調性を養うとともに、少年野球の普及発展とチーム間の親睦交流を深めることを目的に、20年間継続してきた地域密着の事業である。記念大会では芽室ジャガーズと芽室イーグルスが対戦し、5対4で芽室ジャガーズがサヨナラ勝ち。両チームが日頃の練習成果を存分に発揮した熱戦となり、保護者・関係者からも大きな拍手が送られた。節目を祝い、優勝チームには優勝カップ、準優勝チームには準優勝カップをそれぞれ贈呈。子どもたちの挑戦を後押しする場として、今後も継続が期待される。大会運営を通じて、礼儀や仲間を思いやる姿勢などスポーツマンシップの醸成も確認できた。20回という継続の力は、地域の信頼の積み重ねである。青少年の健全育成と地域の一体感づくりに、今後も力を注いでいく。子どもたちの記憶に残る節目として、次の20年へのスタートとなった。

釧路ベイロータリークラブ



釧路ベイロータリークラブは、白糠ロータリークラブと共同で「白糠町立庶路学園ロータリー植樹地の再生計画」（継続3年目）を実施した。2025年10月4日、白糠町庶路の乳呑自然公園にてエゾヤマザクラの植樹を行い、地区補助金を活用した3年継続事業として、子どもたちの健やかな成長と将来の良い思い出づくりを願った。昨年は暴風雨のため会員のみでの作業となったが、今年は晴天に恵まれ、教育委員会等の協力も得て小中学生・ボランティア21名が参加。両クラブ会員16名と合わせ計37名で植樹に取り組んだ。クラブの枠を超えた活動により親睦も深まり、桜の咲く頃に再び集うことを約束して終了。地域と次世代をつなぐ有意義な奉仕活動となった。植樹後には活動の趣旨を共有し、子どもたちが自分の手で植えた桜を将来見に来られるようお願いを込めた。3年の継続により植樹地の再生が進み、学びと自然体験を結ぶ場としての価値も高まっている。地域と共に歩む奉仕を継続する。地域の自然環境保全と学びの場づくりを両立した。

雄武ロータリークラブ



雄武ロータリークラブは、創立60周年記念事業を兼ね、地区補助金を活用して「オホーツク温泉ホテル日の出岬」誘導看板の設置（更新）を行った。同ホテルは第三セクターとして1998年12月に開業し、2021年11月から約3年をかけて温泉・客室など館内を全面改装。現在は道内有数の宿泊満足度を誇る温泉宿として町民の財産となっている。老朽化した看板更新の必要性を町に提案し、ホテル関係者とデザイン協議を重ね、看板業者の選定など会員それぞれの強みを生かして事業を推進。2025年9月に設置完了し、10月3日には代表取締役でもある高橋健仁町長へ目録を贈呈して寄贈を終えた。更新後は迷いなく到着できる導線が整い、来訪者の利便性向上が見込まれる。観光客の満足度向上は地域経済の下支えにもつながるため、公共性の高い整備として意義深い。節目の年にふさわしい地域貢献として、今後も観光振興と奉仕の両立を図る。

地域に根ざす奉仕の実践 地区補助金事業報告

美深ロータリークラブ



美深ロータリークラブは、文化会館 COM100 敷地内公園に木造の東屋を建設する「プラス循環“あずまや”設置事業」を実施した。本事業は、地域振興に資するファンドレイジングの広報、会員自らが組み立てる奉仕の実践、青少年奉仕としての木育ワークショップ、憩いの場の創設による公共イメージ向上を循環させ、会員の絆を深めることを目的とする。3月から協議を重ね、9月に本格施工を開始。延べ36名の会員が作業に参加した。東屋は3m四方でベンチ5基と大型テーブル1基を備え、複数人が寛げる空間となった。10月5日には寄贈式とワークショップを開催し、子どもを含む42名が木製ストラップ作り、防腐塗装、ベンチ組立て等を体験。町長も出席し、地域の憩いの場として未永い活用が期待される。会員が手を動かして形にしたことで、奉仕の実感とクラブの結束が一段と強まった。完成後は散策や休憩、行事の集合場所として活用が進み、公共空間の価値向上にもつながっている。地域に根差した活動を今後も積極的に展開していく。

美瑛ロータリークラブ



美瑛ロータリークラブは「第4回美瑛ロータリークラブ杯少年野球大会」を開催し、地区補助金を活用して野球用得点ボードとLEDカウント表示器を整備した。大会は2025年9月20日、美瑛小学校グラウンドで実施され、6チーム、延べ87名の選手と監督・コーチが参加。得点ボードとカウント表示器の導入により、試合進行が円滑となり、観客・選手ともに試合状況を把握しやすくなった。可視化が進んだことで大会運営の公正性・透明性が向上し、満足度の向上にもつながった。本整備は地域少年育成の基盤強化であり、スポーツを通じた健全育成と地域の一体感づくりに寄与する取り組みとなった。今後も継続的な環境整備に努めていく。表示器の更新は安全面にも寄与し、審判や記録係の負担軽減にもつながった。試合の状況が一目で分かることで応援の一体感が高まり、子どもたちの意欲向上にも効果が見られた。地区補助金による設備整備の意義を大きく感じ、引き続き地域スポーツ環境の充実に取り組む。今後は大会運営の標準化にも役立つ予定である。

旭川東北ロータリークラブ



旭川東北ロータリークラブは、昭和61年から継続する中学校野球大会とバレーボール大会(平成16年より小中学校対象)を、第40回記念として実施した。節目の年にあたり、猛暑下での試合・練習を支える実用品として、参加各チームヘクターボックスを2個ずつ寄贈。本体にはロータリーのロゴと「四つのテスト」を掲示し、奉仕の理念の周知も図った。野球は5校4チームで生徒60名・応援40名が参加(9月23日)。バレーは中学4校4チーム、小学4校4チーム(1校は当日欠場)で児童生徒120名・応援80名が参加(11月30日)。親子二世代之出場も見られる地域に根差した大会として、今後も青少年育成の場を守り継いでいく。当日は会長よりロータリーとポリオ根絶活動も紹介し、来場者へ理解を促進した。用具は消耗品ではなく長期に活用でき、次回以降の大会運営にも資する。地域の子どもたちが安心して競技に臨める環境整備として、地区補助金の効果を実感する事業となった。地区内外へ開かれた大会として、広報面の効果も期待される。

帯広北ロータリークラブ



帯広北ロータリークラブは、帯広大谷高等学校インターアクトクラブの関東交流会・研修会参加を支援し、青少年リーダーとしての研鑽を促す事業を実施した。2025年8月1日から5日までの5日間、生徒12名と顧問、提唱クラブ会員7名の計20名が参加。湘南学園中高との交流会では活動紹介、台湾研修報告、ポリオ募金活動の発表を行い、アイスブレイクを通じて打ち解けた後、異文化理解やグローバル化などのテーマで討議を深めた。JICA 横浜海外移住資料館の見学も行い学びを拡充。2日目は横浜清風高校との合同研修を実施し、IACで身につく力や地球規模課題を議論。年次大会では堂々と活動報告を行い高い評価を得た。直接対話の価値を再確認し、次世代育成に資する成果が得られた。現地クラブの温かな受け入れのもと、SNSでは得られない「直接会って語る」交流の価値を生徒が体感したことが大きい。研修後には感謝を込めた振り返りの場も設け、学びを言語化して次年度活動へつなげる基盤を整えた。地区補助金の活用により、越境交流による成長機会を確実に提供できた。

補助金事業が終了したクラブは報告書とお写真をガバナー事務所まで送付をお願いいたします。

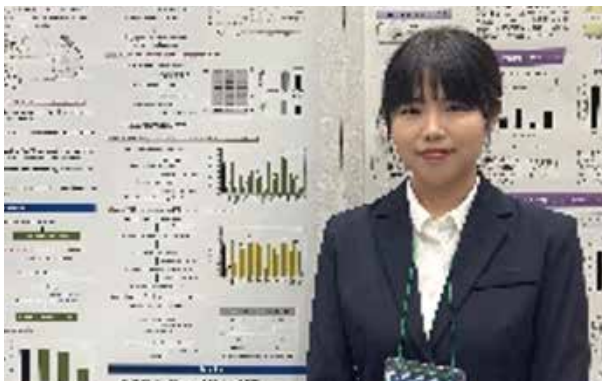
各地で頑張る米山記念奨学生レポート

Youはどうして2500地区へ?

Why did you come to district 2500?

テリゲル

(世話クラブ / 北見ロータリークラブ)



私は米山奨学生のテリゲルと申します。中国内モンゴル出身です。この4月から米山奨学生として迎えていただきましたこと、心より感謝しておりますとともに、大変光栄に感じております。

私は現在、北見工業大学の博士課程3年に在籍しており、専門は「バイオ食品栄養化学」です。研究テーマは、天然食用植物を用いた免疫細胞への体外実験により、抗アレルギーおよび抗炎症作用を検証することです。これまでの研究成果に基づき、過去2年間で国内外の多くの学会に参加し、ポスター発表や口頭発表を通じて、関連分野の先端研究動向を学んできました。また、活発な学术交流も重ねてきました。

研究の合間には、さまざまな文化交流活動にも積極的に参加し、茶道の体験を通じて、日本の伝統美学を理解しました。また、「北見市ほんちまつり」や「北見厳寒の焼肉まつり」など、北見ならではの祭に参加して当地独特の雰囲気を肌で感じました。さらに、さまざまな懇親会やサークル活動を通じて、世界各国から集まった留学生たちと交流を深めたことで、語学力や人間関係を築く力が大きく向上したことを実感しています。

今年4月に米山奨学生となって以来、ロータリーク

ラブの活動は、私にとって貴重な学びの場となっており、毎月参加する例会では多様な分野の卓話に触れて視野を広げるとともに、皆様との交流を通じて、実践的な日本語運用能力も磨かれています。「市民植樹祭」や「ポリオ撲滅活動」といった地域活動に参加することで、日本ではなかなか得られない地域文化やコミュニティの雰囲気を直接感じ取ることができました。特にロータリークラブの「奉仕の精神」に触れ、社会に貢献することの意義について深く考えるきっかけとなりました。

この2年半の留学生活の中で私にとって最も影響が大きかったのは、異なる文化や価値観との出会いでした。それらは私の視野を広げ、考え方を刷新し、違いを理解して受け入れる過程で、自己変革の機会をもたらしました。一つの文化の視点から脱却した今、異なる文化や思考、行動様式を理解して尊重するとともに、それらに適応する力を培うことができ、すべてが自分を成長させる貴重な糧となっています。

未筆ながら、ロータリークラブの皆様をはじめ、関係各位のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



Welcome to Rotary!

新入会員紹介



【第3分区】旭川北ロータリークラブ

小野 竜次 (おの りゅうじ)
 生命保険
 1974年1月21日生 / 2月4日入会
 クラブに貢献できる様に全力でがんばります。よろしくお願ひ致します。



【第3分区】旭川北ロータリークラブ

惣田 悟 (そうだ さとる)
 飲食業
 1983年2月5日生 / 2月4日入会
 ロータリー活動を通して皆様と仲良くなれたらありがたいです。



【第3分区】富良野ロータリークラブ

西川 淳史 (にしかわ じゅんじ)
 食品製造業
 1977年8月31日生 / 1月8日入会
 趣味はスポーツ観戦・ドライブです。ロータリーの「奉仕の理想」に深く共感し、例会への参加を通じて学び、成長したいと考えています。



【第3分区】富良野ロータリークラブ

鷹嘴 良介 (たかのはし りょうすけ)
 土木工事
 1974年11月10日生 / 1月22日入会
 趣味は野球観戦・旅行です。富良野の諸先輩方に誘って頂き、入会させていただき、ありがとうございました。皆様にご指導頂きながら、人として成長できればと思っています。家族は妻・長男・長女の4人家族です。



【第3分区】上川ロータリークラブ

笠間 則芳史 (かさま のりよし)
 建築
 1976年10月14日生 / 1月10日入会
 この度、入会させていただき、ありがとうございます。諸先輩方のご指導のもと、ロータリー活動を通じ、会員の皆様と交流を深め、奉仕の精神のもと、地域や社会のために貢献できるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。



【第7分区】釧路東ロータリークラブ

安井 勝俊 (やすい かつとし)
 油槽基地
 1984年9月3日生 / 1月20日入会
 皆様と楽しく交流出来れば嬉しいです。ゴルフ大好き人間です！活動には積極的に参加しますのでご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ致します。



【第7分区】釧路東ロータリークラブ

田中 正人 (たなか まさと)
 自動車貨物輸送
 1965年年4月2日生 / 1月20日入会
 この度は、釧路東ロータリークラブにお誘ひ頂きありがとうございます。皆様のご指導のもと、活動させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

物故会員



【第1分区】稚内ロータリークラブ

谷口 衛 (たにぐち まもる)
 新聞社
 2026年1月22日逝去 (享年 83歳)
 平成 28年 入会
 平成 30年 会報委員長
 平成 31年 職業・社会奉仕委員長
 令和 3年 会報ロータリー情報広報雑誌委員長
 令和 4年 会報ロータリー情報広報雑誌委員長
 令和 5年 公共イメージ向上委員長
 令和 7年 PHF



【第2分区】中頓別ロータリークラブ

細谷 久雄 (ほそや ひさお)
 建設業
 2026年1月25日逝去 (享年 68歳)
 平成 15年 入会
 平成 20年 幹事
 平成 25年 会長
 令和 27年 会長
 令和 29年 幹事
 令和 2年 幹事

寄付者報告

ロータリー財団

【第1分区】 稚内南ロータリークラブ

坂野 泰雄 (さかの やすお)

【寄付月日】 2025年1月21日

【寄付種類】 ポリオンサイエティ

ロータリー財団

【第6分区】 帯広南ロータリークラブ

小田 衣代 (おだ きぬよ)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 MPHf+8

ロータリー財団

【第6分区】 帯広南ロータリークラブ

所 紀夫 (ところ のりお)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 PHF

ロータリー財団

【第6分区】 帯広南ロータリークラブ

柴田 博美 (しばた ひろみ)

【寄付月日】 2025年12月23日

【寄付種類】 メジャードナー レベル1

ロータリー財団

【第8分区】 根室西ロータリークラブ

飯作 鶴幸 (はんさく つるゆき)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 PHF+6

ロータリー財団

【第8分区】 根室西ロータリークラブ

星 隆一 (ほしりゅういち)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 PHF+2

ロータリー財団

【第6分区】 帯広ロータリークラブ

工藤 大輔 (くどう だいすけ)

【寄付月日】 2025年11月27日

【寄付種類】 MPHf+7

ロータリー財団

【第6分区】 帯広南ロータリークラブ

武田 啓司 (たけだ けいし)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 MPHf+6

ロータリー財団

【第6分区】 帯広南ロータリークラブ

花房 浩一 (はなぶさ こういち)

【寄付月日】 2025年12月23日

【寄付種類】 MPHf+6

ロータリー財団

【第7分区】 釧路東ロータリークラブ

玉垣 範夫 (たまがき のりお)

【寄付月日】 2026年1月30日

【寄付種類】 MPHf+1

ロータリー財団

【第8分区】 根室西ロータリークラブ

佐藤 正 (さとう ただし)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 PHF+5

ロータリー財団

【第8分区】 根室西ロータリークラブ

谷川 昭次 (たにかわ あきつぐ)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 PHF

ロータリー財団

【第6分区】 帯広東ロータリークラブ

高氏 英年 (たかうじ ひでとし)

【寄付月日】 2025年11月27日

【寄付種類】 PHF

ロータリー財団

【第6分区】 帯広南ロータリークラブ

杉山 玉夫 (すぎやまきみお)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 MPHf+6

ロータリー財団

【第6分区】 帯広南ロータリークラブ

松田 整 (まつだ ひとし)

【寄付月日】 2025年12月23日

【寄付種類】 MPHf+1

ロータリー財団

【第7分区】 釧路東ロータリークラブ

池田 紀明 (いけだ のりあき)

【寄付月日】 2026年1月30日

【寄付種類】 PHF

ロータリー財団

【第8分区】 根室西ロータリークラブ

田中 昭由 (たなか あきよし)

【寄付月日】 2025年11月28日

【寄付種類】 PHF+4

例会出席率 & 会員数推移 (2026年1月末報告)

分区	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
				前月	当月	増減	女性会員	入会	退会
1	礼文	1	67	13	13	0	0	0	0
	利尻	2	75	22	22	0	2	0	0
	利尻島	2	61	14	14	0	1	0	0
	天塩	1	75	16	16	0	3	0	0
	豊富	2	100	20	20	0	1	0	0
	稚内	3	69.5	43	42	-1	2	0	1
	稚内南	2	85	37	37	0	1	0	0
				165	164	-1	10	0	1
2	美深	3	86.2	29	29	0	1	0	0
	枝幸	2	50	24	24	0	0	0	0
	名寄	3	66.6	52	52	0	2	0	0
	中頓別	2	59	13	11	-2	0	0	2
	士別	3	79.55	45	44	-1	1	0	1
				163	160	-3	4	0	3
3	旭川	3	-	99	99	0	11	0	0
	旭川東	2	-	28	28	0	0	0	0
	旭川北	3	-	51	51	0	4	0	0
	旭川南	2	-	28	30	2	2	2	0
	旭川西	3	-	45	45	0	5	0	0
	旭川東北	3	-	17	18	1	1	1	0
	旭川MRC	2	-	23	23	0	4	0	0
	旭川空港	3	87.2	13	13	0	2	0	0
	美瑛	2	-	32	32	0	1	0	0
	富良野	3	77.9	45	47	2	3	2	0
	上川	3	63.64	10	11	1	1	1	0
2500E	3	50	18	18	0	3	0	0	
				409	415	6	37	6	0
4	遠軽	3	76.5	44	45	1	3	1	0
	紋別	4	65.71	34	34	0	3	0	0
	紋別港	4	74	26	26	0	3	0	0
	興部	2	70	15	15	0	1	0	0
	雄武	4	69.23	13	13	0	0	0	0
	滝上	3	88.1	14	14	0	1	0	0
					146	147	1	11	1

第2500地区	前月末 会員数	当月末 会員数	増減	平均出席率
	2284	2283	-1	69.81
女性会員数	180	180	180	

分区	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数						
				前月	当月	増減	女性会員	入会	退会	
5	網走	3	67.43	52	52	0	6	0	0	
	網走西	3	72.31	53	54	1	3	1	0	
	美幌	4	86.5	53	53	0	5	0	0	
	北見	4	75.09	63	64	1	8	1	0	
	北見東	3	80.56	48	48	0	3	0	0	
	北見西	3	79.03	69	69	0	6	0	0	
	清里	2	74	31	31	0	0	0	0	
	留辺蘂	3	76.1	22	21	-1	0	0	1	
	斜里	2	72.01	30	30	0	4	0	0	
					421	422	1	35	2	1
	6	足寄	2	51.3	25	25	0	2	0	0
広尾		1	68.7	12	12	0	0	0	0	
上士幌		3	69	15	15	0	0	0	0	
芽室		2	77.5	20	20	0	1	0	0	
帯広		3	68.6	89	89	0	11	0	0	
帯広東		3	66	37	35	-2	3	0	2	
帯広北		3	61.9	58	58	0	3	0	0	
帯広南		3	76.41	64	63	-1	8	0	1	
帯広西		4	67	84	84	0	8	0	0	
音更		3	68.2	42	42	0	6	0	0	
清水		3	67.89	19	20	1	2	1	0	
				465	463	-2	44	1	3	
7	釧路	4	46.8	106	106	0	0	0	0	
	釧路東	3	55	28	29	1	0	2	1	
	釧路北 (サテライト (ルミナス)	4	62	84 14 10	84 14 10	0	7 7 10	0	0	
	釧路南	3	60	27	27	0	5	0	0	
	釧路西	2	52	27	27	0	1	0	0	
	釧路ベイ	3	58.3	20	20	0	2	0	0	
	音別	2	83.3	15	15	0	0	0	0	
	白糠	4	84.1	11	11	0	1	0	0	
					342	343	1	33	2	1
	8	厚岸	2	71	14	14	0	0	0	0
		浜中	4	60	10	10	0	0	0	0
中標津		3	42.9	49	49	0	4	0	0	
根室		2	72	33	31	-2	0	0	2	
根室西		3	70.7	48	47	-1	1	0	1	
弟子屈		2	94.4	19	18	-1	1	0	1	
			70.14	173	169	-4	6	0	4	
				2284	2283	-1	180	12	13	